



ヒューマコロジーが2024年度豪 Cannabiz Award for Innovationを受賞した授賞式の模様。右から最高医療責任者であり救急医療専門医のDr. Crosby Rechlin氏、アワード審査員、CCOのSam Saunders氏、GM//パートナーであり臨床看護士のJoseph Corcoran氏

大自然溢れるヌーサの街が
ビジネスに閃きをもたらす

Q..(HM編集部/以下同)サムさんが経営する「ヒューマコロジー」社の拠点は、オーストラリアのヌーサとメルボルンにあるんですね。

A(サム・サンダース/以下同)「生まれ育ったのはオーストラリアのメルボルンです。22歳でロンドンに引っ越し、その後はシドニー、ニュー

ヨーク、ロサンゼルス、ミネアポリス、ストックホルムなど世界各地に住んでいました。最長はニューヨークで、12年間暮らしていました。ヌーサに移り住んだのは4年前です」

Q..ヌーサはどこなところですか？

A「シドニーから飛行機で1時間10分。地理的には、国際空港のある大都市プリズベンから、車で2時間北上したところにヌーサがあります。ヌーサは限りなく自然に近い温暖な

CREATOR'S INTERVIEW

CHIEF CREATION OFFICER
+ CO-FOUNDER

SAM SAUNDERS

written by Masahiro Ando / interviewed by Aya Komboo /
photographed by Kosuke Kitao

He said:

植物由来の天然成分CBDが話題を集めている。TIME誌の記事によれば、日本のCBD市場は2019年から2023年の間に6倍に成長したと報じられている。この折、オーストラリアシェアNo.1のCBDブランド「ヒューマコロジー」が日本へ上陸する。心身の癒しを求めるダッズ世代にはとっては朗報と言えよう。その準備のために来日中だったヒューマコロジーのCCO、サム・サンダースさんにCBDの魅力について、そして日本展開のビジョンについて話を聞いた。

一つ一つの市場を見極め、勝機を感じたら
創意工夫で今までにないものを生み出すと
ビジネスチャンスは舞い降りてくる

SAM SAUNDERS

HUMACOLOGY

土地で、家ではいつでも
ハーフパンツとTシャツ、裸足です。近くに
ビーチや多くの国立公園
があり、世界的サーフス
ポットの一つとしても知
られています。私もサー
フィンをするのでボード
を7枚所有していますが、
ヌーサに住んでいる人は、
大抵5枚以上のサーフ
ボードを持っています」

Q..とてもいい環境です
ね。毎日が快適過ぎて気
が緩み、仕事を手につか
ないことはないですか？

A「私自身は都会派で、ニューヨ
ークは肌に合っていましたし、都会の
喧騒とエネルギーに街を動き回
るのが好きでした。ただ、ニューヨ
ークや東京、メルボルンは素晴らしく
も刺激が多すぎます。仕事柄出張が
多いので、集中して仕事をできる居
場所が必要ですから、腰を据え、落
ち着いて仕事のできるヌーサを拠点
にしたことは賢明な選択だったと思
います。大自然に囲まれた中でリ
ラックスして、思考回路をリセット
しようと思ったらすぐにできる。ク
リエイティブでいられる時間が圧倒
的に長くなりました。空港が近いの
で日本へのアクセスも抜群です」

Q..日本が好きで何度も訪日され
ていると聞きました。

A「日本も、フレンドリーな日本の
人々もとても好感を持っています。



ヒューマコロジーのアテネ本社で分析テストを行うCEOのJames Dale氏

できることなら月に5回は訪れたい
ほど(笑)。私はロンドン時代にモ
デル経験がありファッションも好き
ですが、特にコムデギャルソンの
大ファンです。日本はファッション
でも料理でもとにかく質が高く、も
のづくりに心がこもっています。ワ
インも上質なものが多く、日本で食
べるイタリア料理は世界一おいしい
と思っています。特に東京は足しげ
く通っていることもあり、麻布十番
や青山界隈には行きつけの居酒屋や
バーもあります。顔馴染みのパーテ
イダーは、私が特別にオーダーした
マティニーのことを覚えていて、『サ
ムティニー』という裏メニューを作っ
てくれます。今回「ヒューマコロ
ジー」の日本進出にともない、六本
木から渋谷あたりで、一軒家をオ
フィスにできるといいますね」



1973年生まれ。世界的に認知されるクリエイティブリーダーで、数多くの業界賞を受賞。製品発明、ブランド体験創造、ブランドコンテンツ執筆を手掛け、カンヌライオンズなどで金賞を獲得

を処方する疾患のリストは、非常に

天然成分、テルペンを多用していることも三つ目のブランド価値です。テルペンとCBDとが混ざることにより高い相乗効果を引き出すことができます。また、人間の体内には身体調節機能「内因性カンナビノイド系（ECS）」が備わっており、CBDはこのECSに働きかける効果も期待できます」

多岐に渡り、こうして列挙できるのはほんの一部です」

Q…厳しい制約がある中で、ニュージーランドに続く海外拠点として、日本市場に参入しました。

A「オーストラリアは世界で最も規制の厳しい国の一つです。この厳格な規制の中で許可を得て製造をする上では、ルールに従わなければならない、我々はそれに伴う科学技術を数多く持っています。オイルはギリシャで製造し、ラボは国立カポデストリアコス・アテネ大学にあります。日本で「大麻取締法及び麻薬及び向精神薬取締法の一部を改正する法律」が2024年12月12日に施行されたことを我々は好意的に捉えています。より厳格な法改正によって低品質の製品や違法業者が市場からの撤退を余儀なくされるでしょう。これは同時に、何十万人もの日本人が体調管理に必要としていた製品を手に入れられなくなることを意味します。そのため、私たちはここで展開する責任があると感じました。日本の政府機関が行う検査機材をはじめとする様々な製造・品質管理のための必要機器をすでに所有していることも強みだと考えています。また、ベトナム向けCBDの効能にも着目しています。向けCBDの効能にも着目しています。販路は自社のウェブサイト、メデイカルクリニックをはじめ、オンラインショッピングサイト、その他にコンビニや実店舗をもつ量販店なども想定しています。今春の本格展開を楽しみにしてください」

CBD は「科学の恵み、日々の進化」。

科学でありながら、感情にも働きかけ、

日々ポジティブな感覚を生み出していく

SAM SAUNDERS



「ヒューマコロジー」商品の日本市場向けパッケージ。本国オーストラリアでは3歳から103歳までが服用者として存在。同じ配合で成分量の異なるラインナップを展開している。※完成品のイメージを示した写真であり、実際の商品とは異なる場合があります



日本市場参入決定後、頻繁にサムさんは日本を訪れている。日本市場に最適なパッケージデザイン案をSan-Qアートディレクター花田氏と検討している



東京を基点とするブランド商品企画のインベーションラボSan-Q代表のマツ・ウォルドマン氏。慶應大学メディアデザイン大学院教授であり、「ヒューマコロジー」の日本展開を支える



着用するロングコートはコム デ ギャルソンとバーバリーのコラボで世界75着の青山店限定モデル。モデル経験もことから、着こなしやふるまいも堂に入っている

科学の恵みと日々の進化で

ライフスタイルが向上する

Q…起業家としてビジネスをいくつも成功に導きましたが、ビジネスの極意はありますか？

A「一つ一つを見極め、創意工夫で磨き上げる」ことに尽きます。私がスタートアップした缶入りワインビ

供したことが「Canvino」の成功に繋がりました」

Q…サムさんの最初の事業の成功は「Canvino」ですか？

A「ニューヨークで立ち上げた広告代理店事業を売却したことが最初の成功といえますね。その次が「Canvino」で、現在も順調に売り上げを伸ばしています。」

Q…そして大麻草由来の天然成分CBD（カンナビジオール）配合の商品を製造販売する「ヒューマコロジー」へ続くわけですね。

A「『ヒューマコロジー』の成功は群を抜いています。現在『ヒューマコロジー』はオーストラリア国内で最も多く処方されるCBDのNo.1ブラン

Q…「ヒューマコロジー」の成功は群を抜いています。現在『ヒューマコロジー』はオーストラリア国内で最も多く処方されるCBDのNo.1ブラン



コム デ ギャルソン、ジュンヤ ワタナベを中心に日本ブランドを愛するサムさん。「靴だけは英国製ですが原宿で買ったものです」

下に成長し、私がこれまでに手掛けたビジネスと比較できない、ケタ違いの成功を収めることができました。もちろん今まで数多くの失敗も経験したので、先々も気は抜けません」

利用者に必ず歓迎されると確信していました。加えて、期待できる効果効き目の強さ、処方方のラインナップをクリエイティブに増やし、カラフルなパッケージにするなど、小さなところでも丁寧に磨き上げることで、既存品とは最終的に大きな違いが出せるとも感じていました」

Q…具体的にはどのようなブランド価値があるのでしょうか？

A「一つ目は自社でCBDオイルを一から作り上げ、成分を抽出し、独自に調合していること。二つ目は、CBG、CBN、CBC、CBLといった、CBD以外の大麻由来で効果が期待できる多種多様な成分を調合していることです。我々の製品には特有の香りを持つアロマのような